

足もと(2025年10月~12月)の運用状況と今後の見通しについて

本ファンドレポートでは、足もとの投資環境や「みらいコネクトファンド」(以下、当ファンド)の運用状況について、アーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(ARK)*の見解などをもとにご紹介します。

*当ファンドの主要投資対象ファンド(グローバル・イノベーション株式ファンド(適格機関投資家向け))の実質的な運用をおこなうアモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインクに対して投資助言をおこなっています。

足もと(2025年10月~12月)の投資環境と当ファンドの運用状況

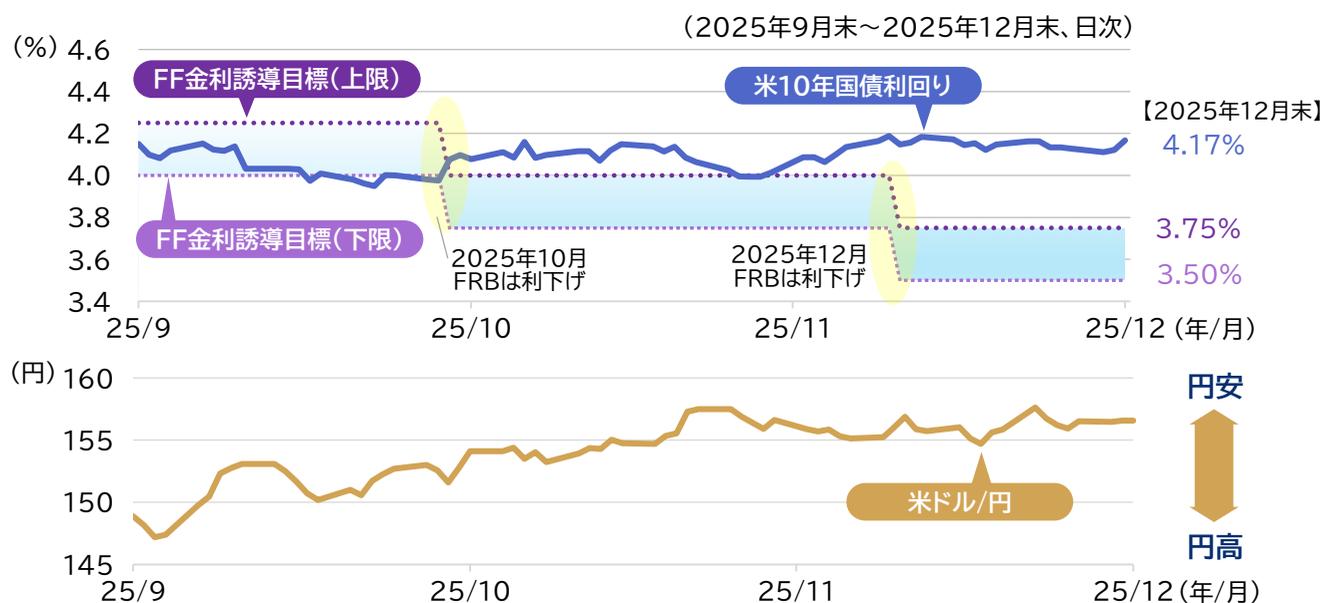
当四半期の主要株式市場は、関税政策や地政学リスクの影響などが懸念されたものの、欧州の景気見通しの改善や、FRB(米連邦準備制度理事会)による利下げが好感されたことなどから上昇しました。セクター別では、ヘルスケアや素材などのセクターが相対的に好調となる一方、不動産、一般消費財・サービスなどのセクターは出遅れました。また、為替市場での円安(対米ドル)の進行が、円ベースでみたリターンの追い風となりました。

そのような中、組み入れている5つの戦略のうち、ゲノム戦略、スペース戦略、マース戦略が堅調に推移したことから、当ファンドの基準価額も上昇しました。

2025年10月~12月の基準価額の推移



(ご参考)米金利と為替の推移



※基準価額は信託報酬控除後です。

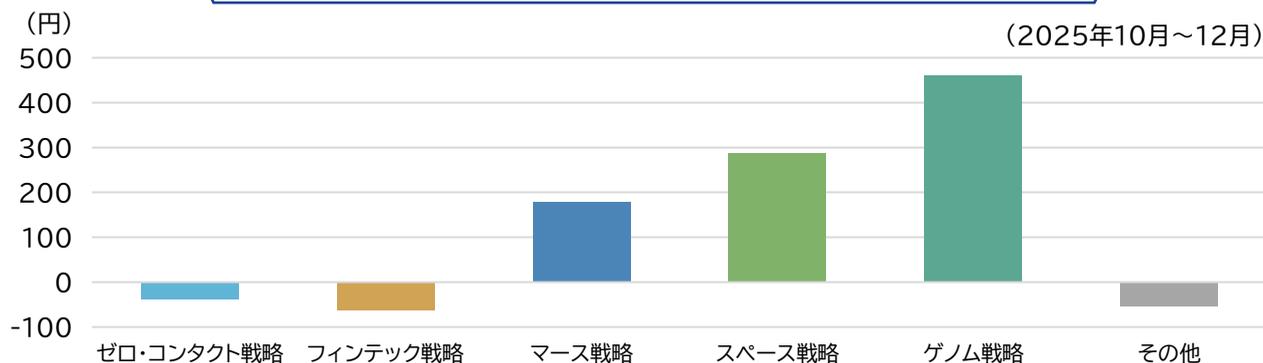
※上記は資料作成時点における、ARKの見解などをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものです。資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり見解は変更される場合があります。また、データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。(出所)ARKからのコメントや各種公開情報など、信頼できると判断した情報をもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成

当資料のお取扱いについては最終ページのご留意事項をご覧ください。

足もと3か月(2025年10月~12月)の各戦略の状況

マース戦略、スペース戦略、ゲノム戦略がプラス寄与、ゼロ・コンタクト戦略、フィンテック戦略がマイナスの影響となりました。

足もと3か月(2025年10月~12月)の各戦略の寄与額(概算)



※ 寄与額は月間寄与額の概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。
 ※ その他には信託報酬が含まれます。また、寄与額算出上、現金保有の影響等によりプラスになることがあります。

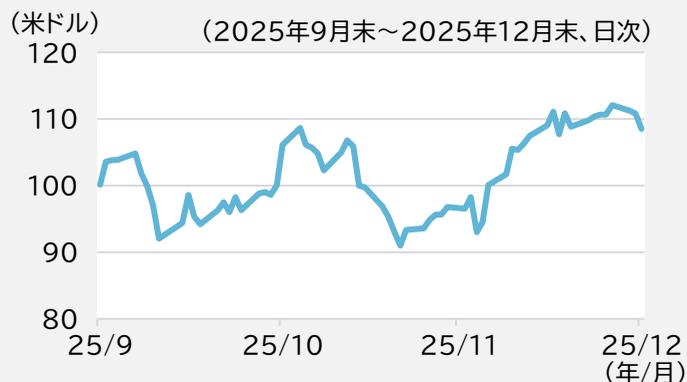
プラス寄与銘柄のご紹介

ゼロ・コンタクト戦略

□ク/米国、メディア・娯楽

- ✓ ストリーミング・プラットフォームの運営企業。広告や有料サービスで収益を得るプラットフォーム事業と、ストリーミング端末やRokuテレビ等を販売するデバイス事業がある。
- ✓ 証券会社のアナリストが、プラットフォーム事業の収益成長や米国の広告市場のポジティブな見通し等から、投資判断を引き上げたことがプラス材料となった。

株価(米ドルベース)の推移



フィンテック戦略

シヨప్పファイ/カナダ、ソフトウェア・サービス

- ✓ クラウドベースでマルチチャネル・プラットフォームを提供するeコマース会社。世界175カ国以上で利用されている。独自の決済システムShopPayも提供する。
- ✓ チャットボット*1で商品検索後そのまま購入できる機能の発表や、サイバーマンデー*2前後に加盟店の売上が過去最高となったこと等が好感された。

*1:ユーザーからの問いかけに応じて自動応答するシステム。

*2:オンラインショッピングのセールイベント。米国の感謝祭(11月第4木曜日)の翌月曜日から実施されることが多いとされる。

株価(米ドルベース)の推移



※プラス寄与銘柄は、2025年10月~12月の単月でプラス寄与となった銘柄。
 ※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記は資料作成時点における、ARKの見解などをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものです。資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方は考え方を記載したものであり見解は変更される場合があります。また、データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。(出所)ARKからのコメントや各種公開情報など、信頼できると判断した情報をもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成

当資料のお取扱いについては最終ページのご留意事項をご覧ください。

プラス寄与銘柄のご紹介

マース戦略

テスラ／米国、自動車・自動車部品

- ✓ 電気自動車の他、太陽光発電システムや蓄電池にも取り組む。世界で最高レベルの安全性と乗っていて楽しい車を目指す。
- ✓ オースティンで人間の監視員が同乗しないロボタクシーの試験や、2026年に生産開始が予定されているロボタクシー専用車両のテストを行ったことなどが好感された。

株価(米ドルベース)の推移



スペース戦略

ロケット・ラボ／米国、資本財

- ✓ 衛星、宇宙船部品の供給、設計、製造を行う航空宇宙企業。
- ✓ JAXA(宇宙航空研究開発機構)と複数回の打ち上げ契約の他、SDA(米宇宙開発局)から過去最大となる最大8億米ドル超の防衛用衛星18基の契約を獲得。2028年までに米国人を再び月面着陸させる計画など、米宇宙分野に関する幅広い取り組みを定めたトランプ米大統領による大統領令も追い風となった。

株価(米ドルベース)の推移



ゲノム戦略

ヌリックス・セラピューティクス／米国、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

- ✓ 病原タンパク質を従来の抑制ではなく除去する“標的タンパク質分解技術”に強みを持つバイオ医薬品メーカー。
- ✓ 治療が難しい慢性リンパ性白血病(CLL)や小リンパ球性リンパ腫(SLL)の患者に対して新薬の第1相臨床試験で83%に効果があり、同薬で別の血症患者の第1相臨床試験でも75%に効果があったことが発表され、好感された。

株価(米ドルベース)の推移



※プラス寄与銘柄は、2025年10月～12月の単月でプラス寄与となった銘柄。
 ※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
 ※上記は資料作成時点における、ARKの見解などをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものです。資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方針あるいは考えなどを記載したものであり見解は変更される場合があります。また、データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。(出所)ARKからのコメントや各種公開情報など、信頼できると判断した情報をもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成

ARKの見解

今後の見通し



Catherine D. Wood
ARK 創業者、
CEO/CIO (最高投資責任者)

ARKでは、破壊的イノベーション株式は単に回復しているだけでなく、再評価されている段階にあると考えています。

暗号資産、人工知能(AI)、医療分野などにおける政策変更や、予算調整措置法案における減価償却軽減措置などの財政措置に支えられ、構造的な追い風が形成されつつあり、これらは米国の競争力を高め、外国投資を誘致する可能性があります。

米国のトランプ大統領の成長重視政策、そしてAI、ロボット工学、エネルギー貯蔵、マルチオミクスにおける画期的な進歩と相まって、これらの力は生産性とイノベーション主導の成長の新たな波を引き起こす可能性があります。

ご参考



【医療分野における政策について】

米国には、Health Savings Account(以下、HSA)という、医療費用のお金を非課税で積み立てるしくみがあります。金融機関が保険プランを提供し、加入者は拠出金に対して税制優遇を受けることができます。トランプ大統領は、HSAの保険プランや加入要件を緩和したため、保険プランの拡充、加入者増加、オンライン診療などが活発になる可能性があります。

【予算調整措置法案について】

One Big Beautiful Bill Act(OBBBA)と呼ばれる法案が2025年7月に可決。第一次トランプ政権時の法人税減税の継続の他、企業の投資負担を軽くする税制優遇(研究開発費が全額当期で損金算入可能、2025年から購入し使用する要件を満たした固定資産は全額損金算入できる等)が含まれています。

各戦略の投資スタンス

- **ゼロ・コンタクト戦略**は、今後も業務フローのデジタル化や労働の自動化を進めるAIを使った技術およびソフトウェア、金融サービス銘柄などに着目しています。
- **フィンテック戦略**は、金融サービスとテクノロジーの融合を活かし、グローバル経済における多様な取引に影響を与える銘柄を中心に選好していく方針です。
- **マース戦略**は、自動運転トラックやタクシー、自動運転プラットフォームへの転換を遂げられる自動車関連企業やテクノロジー企業などから選別投資する方針です。
- **スペース戦略**は、新しい宇宙時代へと導く企業や、人工衛星を経由するデータで成長戦略を描ける企業などに着目しています。
- **ゲノム戦略**は、DNAシーケンシング*やゲノム編集、AI技術などの融合を活かし、幅広い分野で影響を与える可能性がある企業を選好していく方針です。*DNA(核酸)を構成する塩基の配列を決定すること。

※上記は資料作成時点における、ARKの見解などをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものです。資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方針や考えなどを記載したものであり見解は変更される場合があります。また、データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。(出所)ARKからのコメントや各種公開情報など、信頼できると判断した情報をもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成

「当ファンド」設定来の基準価額と純資産総額の推移

(2021年7月13日(設定日)~2025年12月末、日次)



当資料のお取扱いについては最終ページのご留意事項をご覧ください。

ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**

株価変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスク

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

<その他の留意点>

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の換金申込みが発生し短期間で換金代金を手当てする必要がある場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止・取消となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託期間	無期限(2021年7月13日設定)
決算日	毎年3月12日(休業日の場合は翌営業日)です。
収益分配	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。 収益分配金の受取方法により、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の2つの申込方法があります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。 なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入・換金申込受付不可日	申込日当日または申込日の翌営業日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に 3.3%(税抜3.0%)を上限 として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。 購入時手数料は、商品説明等にかかる費用等の対価として、販売会社にお支払いいただくものです。詳しくは販売会社にお問い合わせください。	
信託財産留保額	ありません。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用 (信託報酬)	当ファンド(a)	純資産総額に対して年率0.946%(税抜0.86%) 信託期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。
	投資対象とする 投資信託証券(b)*1	純資産総額に対して年率0.913%(税込)
	実質的な負担 (a+b)*2	純資産総額に対して 年率1.859%程度(税込) ※この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入れ状況により変動します。
その他の費用・ 手数料	有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用等をその都度、監査費用を日々、ファンドが負担します(投資対象ファンドにおいて負担する場合を含みます。)。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

*1 ファンドが投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のものを表示しています。

*2 ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加味した、投資者の皆さまが実質的に負担する信託報酬率になります。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社 スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]
金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2831号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
ホームページ：https://www.soam.co.jp/
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社 当ファンドの販売会社については【販売会社一覧】をご覧ください。[募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

販売会社一覧

商号等	登録番号	加入協会	
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会
京銀証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第392号	○	
株式会社京都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第10号	○	○
株式会社京都銀行 (委託金融商品取引業者 京銀証券株式会社)	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第10号	○	○
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第53号	○	○
株式会社きらぼし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第53号	○	○
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3198号	○	
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○	
株式会社群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号	○	○
株式会社千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	○	○
株式会社UI銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)(オンラインサービス専用)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第673号	○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	○	○

※上記は2026年1月末現在の情報であり、販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合があります。

【ご留意事項】

- ◆ 当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法にもとづく開示書類ではありません。
- ◆ ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- ◆ 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクをとまいません。に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- ◆ 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- ◆ 当資料は信頼できると判断した各種情報等にもとづき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- ◆ 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータにもとづき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- ◆ 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。